
新墮落論

怒万坊

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新墮落論

【Nコード】

N9230Y

【作者名】

怒万坊

【あらすじ】

一生、そのままでもいいのか。
放射能垂れ流しのこの地上で、俺は、ただ耐え続けるだけ耐え続けて、疲れ果てた驢馬のように死んでいくのか？
それが、俺の人生か？

貧者には、永久に、富は分配されない。

手取りの給料は、18歳で、13万〜18万、それ以下があることはあっても、

それ以上になることはない。

なぜなら、貧者が、金を手にすれば、働かなくなるからだ。

ゆえに、富み持つ者たちは、

貧者に金を渡さない。落とさない。分配するわけがない。

貧者が、生活に余裕あるだけの金額を一度に、もしくは、少しずつでも得ることができれば、

果たして、貧者は、今のように、あせくせ、毎日、必死になって働くだろうか？

二億の生涯賃金を手にすれば、
貧者は、もはや、その会社に忠義をもって、働くことはしないだろう。

ゆえに、富豪は、貧しい者に、一定の自由と秩序を乱さない程度の金を、

それだけの金しか、一生、永遠に、貧しい者に落とさない。

そして、美辞麗句。

忠義、義理、人情、感謝：社畜として、飼いつけるわけだ。

畑を耕す者が、必要だからだ。

腹が肥えた男は、もはや、畑を耕すまい。

あるかないかの、その匙加減が、重要なのだ。

これが、世間の定理だ。

富む者は、さらに富み、

貧しい者は、永遠に、貧しい。

蜘蛛の糸などない。

あるのは、よどみに浮かぶ、

哀れで、粗末な人生ばかりだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9230y/>

新墮落論

2011年11月27日17時52分発行